

規定に関する補足

ここでは、ひまわり証券の先物・オプション取引規定に関する「当社が定める事項」について補足致します。

第3条（取扱銘柄）

お客様が売買注文を委託できる取引は、当社が別途定める銘柄とします。

先物・オプション取引の取扱銘柄は以下の通りです。

- ① 日経 225 先物取引
- ② 日経 225 mini（先物取引）
- ③ 日経 225 オプション取引
- ④ T O P I X 先物取引

第5条（建玉の上限）

お客様が行う建玉の上限数量は、当社が別途定めるものとします。

株価指数先物取引 ：片側 30 枚、総建玉 60 枚

日経 225mini（先物取引）：片側 100 枚、総建玉 200 枚

オプション取引 ：売建玉 50 枚

第6条（注文の上限）

先物・オプション取引における注文上限は、当社が別途定めるものとします。

株価指数先物取引：建玉数と注文数を合算して「建玉の上限」を超えないものとします。

オプション取引：50 枚

取引手数料

（1枚当たり）

	インターネット	コールセンター
日経平均株価先物取引	945円	4,998円
日経 225 mini	105円	1,050円
T O P I X 先物取引	945円	4,998円
日経平均株価オプション取引	約定代金の0.525% 下限手数料なし (日計り決済手数料無料)	約定代金の1.05% 下限2,625円

第8条（必要証拠金）

必要証拠金は、当社が別途定めるものとします。

一株価指数先物・オプション取引について

- 取引所が要求するSPAN証拠金額の1.2倍ーネット・オプション価値の総額とし、すべて現金で差入れなければなりません。
- * 取引所が要求するSPANリスクパラメータ（SPANの計算式）が変更される場合は、変更日の大引け後から適用されるため、変更日当日の売買に関しては、前（旧）SPANリスクパラメータが適用されます。その後大引け後再計算され証拠金不足になる場合があります、必要証拠金に達する金額以上のご入金が必要になります。
- 最低証拠金：「先物取引の建玉」若しくは「先物取引とオプション取引の複合した建玉」の場合、先物取引の1枚当たりの証拠金額が最低証拠金額になります。

以上